

第18回

ひとりで悩んでいるあなたへ…
ここに来れば何かが変わります

いじめ・虐待防止 フォーラム



特別講演

「虐待を防ぐには」

岡田 ユキ 氏

「いじめと虐待・躰と虐待、この二つの境目についてお話をさせていただきます。まず虐待とは言葉の暴力・肉体的暴力・性的虐待・ネグレクト（育児放棄）の4つに大別されます。躰の分野で判断したら言葉の暴力と肉体的暴力の強弱が、虐待との境目だと思われます。——私には26歳になる一人息子がいます。約二十年前に母子家庭となり京都から東京へ出てきました。その時息子は小学校2年生で、私たちは経済的にも非常に苦しく悲惨な状態でした。お互いが環境の変わった中、当然息子にも厳しく接し、口うるさく手を上げたこともありました。現在息子は当時を振り返り、あんな状況の中よく育ててくれて感謝していると語ってくれます。どうして私の息子が感謝出来て、私が育てられてきた両親に対しては、虐待され続けたと今でも思っているのか、この差は何なのでしょう。——私が息子に対してとった行動は、厳しい言葉で叱責した意味とどうして手を上げて叩いたりしたのかを、その都度具体的説明をしながら話し続けて育ててきました。

（サークル・ダルメシアンブログより抜粋）

平成24年 1月 19日(木) 18:00開場/18:30開始～ 21:15終了

新宿区大久保地域センター・3階会議室A 新宿区大久保2丁目12番7号

入場無料（完全申込制・希望者多数の場合は抽選となります）



おかだ ゆき

【第1部 特別講演】 岡田 ユキ 氏

私は家庭内で孤立し、親兄からお前は悪い人間だ！と日常的に罵（のの）しられ育ちました。そうなる自分自身も、私は悪い人間なのだと思うのは当然です。因らざるも犯罪に手を染めるようなことがなかったのが、今更ながらよかったと感じています。私が不幸になることが、彼らの優越感に浸れるといった、歪んだ図式の家庭環境だったと思います。一方的な感情の押しつけがエスカレートしていくと虐待を招き、具体的説明を納得出来るまで説明し続けると、躰になると思います。（サークル・ダルメシアンブログより抜粋）

【第2部 パネルディスカッション】

- パネリスト : 岡田ユキ（カウンセラー・サークルダルメシアン代表）
: 三島修一氏（国立国際医療センター国府台病院第1内科医長）

（当日変更の場合もあります）

- 質疑応答・アピールタイム・意見交流・他
- 東久邇宮音楽療法研究会の皆さんによる音楽療法体験

【より専門的に学びたい方へ】

～ CAP 専門カウンセラー養成講座のご案内 ～

随時入学受付（6ヶ月コース）・毎月1回授業開催（10:00～18:00）

場所：至誠学園チャラの木プラザ4F（JR立川駅下車、南口よりタクシー利用1000円前後）

内容に関するお問い合わせ、お申し込みは下記までお願いします

主催 児童虐待防止の市民活動団体 サークル・ダルメシアン

後援 新宿区・社会福祉法人新宿区社会福祉協議会・新宿区教育委員会・NPO法人あきらめない
新宿区更生保護女性会・東京ボランティア市民活動センター・テラクリエーション

お問い合わせ先 事務局（垣内携帯）090-3342-8562

ホームページ <http://cdal.org> メール info@cdal.org

このチラシは「公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センター」が作成しました。